

「各教科・領域における食育との関連項目一覧表」(中学校)

社会

教科・領域	新学習指導要領	現行学習指導要領	目次大項目	目次小項目	キーワード
社会 (地理的分野)	B (1) ア (7) 世界各地の自然及び社会的条件と人々の生活	(1) イ 世界の様々な地域 世界各地における人々の生活の様子とその変容 多様性	世界各地の人々の生活と環境	雪と氷の中で暮らす人々 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々 温暖な土地に暮らす人々 乾燥した土地に暮らす人々 常夏の島で暮らす人々 標高の高い土地に暮らす人々 世界に見られるさまざまな気候と広がり 人々の生活に根付く宗教 伝統的な生活とその変化	狩り 主食 遊牧 焼畑農業 かんがい施設 放牧 自給自足 農業 断食
	B (2) ア (4) ①アジア	(1) ウ アジア	世界の諸地域	アジア州	稲作 畑作 香辛料 かんがい施設 二期作 プランテーション 牧畜 断食 かんがい農業
	B (2) ア (4) ②ヨーロッパ	(1) ウ ヨーロッパ		ヨーロッパ州	地中海式農業 混合農業 酪農
	B (2) ア (4) ③アフリカ	(1) ウ アフリカ		アフリカ州	商品作物(茶 カカオ コーヒー 綿花) プランテーション 農業 採集 焼畑 牧畜 モノカルチャー経済 NGO 遊牧 狩り
	B (2) ア (4) ④北アメリカ	(1) ウ 北アメリカ		北アメリカ州	北米自由貿易協定 適地適作 企業的な農業 バイオテクノ ロジー ファストフード かんがい農業
	B (2) ア (4) ⑤南アメリカ	(1) ウ 南アメリカ		南アメリカ州	プランテーション バイオエタノール 輸出用作物 漁業 焼畑農業 牧畜 アマゾン地域の開発 持続可能な開発 企業的で大規模な農業
	B (2) ア (4) ⑥オセアニア	(1) ウ オセアニア		ヨーロッパ州	作物栽培 牧畜 放牧
	C (2) 日本の地域的特色と地域区分 ①自然環境 ③自然・エネルギーと産業 ア (7) 日本の資源・エネルギーと産業に関する 特色	(2) イ (7) 自然環境	世界から見た日本の姿	世界から見た日本の自然環境	リアス海岸 潮目 扇状地 果樹園 低地 水田 稲作 た め池 平野 盆地 三角州 台地
	C (2) 日本の地域的特色と地域区分 ①自然環境 ③自然・エネルギーと産業 ア (7) 日本の資源・エネルギーと産業に関する 特色 C (3) 日本の諸地域 ①自然環境 ②人口や都市・村落 ③産業 ④交通や通信 ⑤その他事象	(2) イ (7) 資源・エネルギーと産業	世界から見た日本の姿 日本の諸地域	世界から見た日本の資源・エネルギーと 産業	三大穀物 三大漁場 先進工業国 発展途上国 持続可能な 社会 近郊農業 促成栽培 抑制栽培 施設園芸農業 貿易 自由化 食料自給率 環境保全型農業 産地直送グループ 産地地消 排他的経済水域 遠洋漁業 沖合漁業 養殖漁業 栽培漁業 再生可能エネルギー リサイクル
	C (2) 日本の地域的特色と地域区分 ①自然環境 ③自然・エネルギーと産業 ア (7) 日本の資源・エネルギーと産業に関する 特色 C (3) 日本の諸地域	ウ 日本の諸地域 (7) 自然環境 (4) 歴史的背景 (7) 産業 (エ) 環境問題 環境保全 (ハ) 生活・文化	世界から見た日本の姿 日本の諸地域 日本の諸地域 古代までの日本	九州地方	しらす 農業被害 稲作 畑作 畜産 棚田 ビニールハウ ス 促成栽培 ブランド化 エコタウン 持続可能な社会

社会 (地理的分野)	①自然環境 ②人口や都市・村落 ③産業 ④交通や通信 ⑤その他事象 C (3) 日本の諸地域 ①自然環境 ②人口や都市・村落 ③産業 ④交通や通信 ⑤その他事象 B (1) ア(7) 世界の古代文明の起り	ウ 日本の諸地域 (7) 自然環境 (4) 歴史的背景 (7) 産業 (エ) 環境問題 環境保全 (カ) 生活・文化 (2) ア世界の古代文明の起り 日本列島における農耕の広まりや生活の変化	世界から見た日本の姿 日本の諸地域 日本の諸地域 古代までの日本	中国・四国地方	ため池 野菜・果樹栽培 ビニールハウス 促成栽培 鳥取砂丘 養殖 町おこし 村おこし インターネット
	C (3) 日本の諸地域 ①自然環境 ②人口や都市・村落 ③産業 ④交通や通信 ⑤その他事象 B (1) ア(7) 世界の古代文明の起り B (1) ア(4) 日本列島における農耕の始まりと生活の変化	ウ 日本の諸地域 (7) 自然環境 (4) 歴史的背景 (7) 産業 (エ) 環境問題 環境保全 (カ) 生活・文化 (2) ア世界の古代文明の起り 日本列島における農耕の広まりや生活の変化 (2) ア世界の古代文明の起り 日本列島における農耕の広まりや生活の変化 (2) ウ国際的な文化の要素と文化の国風化	日本の諸地域 古代までの日本 古代までの日本 中世の日本	近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方 世界の古代文明と宗教のおこり 日本列島の誕生と大陸との交流	リアス海岸 近郊農業 伝統野菜(京野菜) 天下の台所 地場産業 果樹栽培 抑制栽培 観光農園 高原野菜 施設園芸農業 早場米 遠洋漁業 郷土料理 近郊農業 抑制栽培 工芸作物 畜産 高原野菜 輸送園芸農業 横浜中華街 関東ローマ 畑作 穀倉地帯 稲作 果樹栽培 潮目 リアス海岸 養殖 つけ物 いぶりがっこ 保存食 地場産業 農林水産業 屯田兵 酪農 北洋漁業 養殖 品種改良 客土 ローム層 輪作 酪農 食料基地 地産地消 狩り 採集 土器 家畜 農耕 牧畜 打製石器 磨製石器 青銅器 鉄器 シルクロード 狩り 採集 打製石器 火 縄文土器 植物栽培 貝塚 稲作 弥生土器 農耕用ため池 金属器(青銅器、鉄器) 土偶 木製農具 須恵器
社会 (歴史的分野)	B (1) ア(エ) 古代までの日本の特色	(2) ア世界の古代文明の起り 日本列島における農耕の広まりや生活の変化 (2) ウ国際的な文化の要素と文化の国風化 (3) イ農業などの諸産業の発展 農村における自治的な仕組みの成立	古代までの日本 中世の日本 中世の日本 近世の日本	古代国家の歩みと東アジア世界 武士の台頭と鎌倉幕府 東アジア世界とのかかわりと社会の変動	租・調・庸 口分田 鉄製農具 墾田永年私財法 荘園 1日2食 班田収授法 年貢 牛馬耕 鉄製農具 肥料 二毛作 定期市 公領 二毛作 堆肥 定期市 茶の湯 水車 田楽
	B (2) ア(ウ) 農業などの諸産業の発達 農村における自治的な仕組みの成立	(3) イ農業などの諸産業の発展 農村における自治的な仕組みの成立 (4) イ江戸時代の農村の様子	中世の日本 近世の日本 近世の日本 開国と近代日本の歩み	ヨーロッパ人との出会いと全国統一 江戸幕府の成立と鎖国	香辛料 大西洋の三角貿易 南蛮文化 茶の湯 パン カステラ 年貢 百姓(本百姓・水のみ百姓)
	B (2) ア(ウ) 農業などの諸産業の発達 農村における自治的な仕組みの成立 B (3) ア(4) 江戸時代の農村の様子 B (3) ア(4) 江戸時代の農村の様子 B (3) ア(ウ) 産業の発達	(3) イ農業などの諸産業の発展 農村における自治的な仕組みの成立 (4) イ江戸時代の農村の様子 (4) イ江戸時代の農村の様子 (4) ウ産業や交通の発達 各地方の生活文化	近世の日本 開国と近代日本の歩み 開国と近代日本の歩み 二度の世界大戦と日本	産業の発達と幕府政治の動き 欧米の進出と日本の開国 明治維新	新田 農業全書 備中ぐわ 千歯こき 商品作物 特産品 捕鯨 水産業 俵物 しょう油 蔵屋敷 1日3食 年中行事 ききん 専売制 唐其 酒造 特産物 肥料(干鰯) 天下の台所 小作人 地主 甘藷記 産業革命 資本主義 イギリスの三角貿易 文明開化 牛肉 食生活の変化
	B (3) ア(4) 江戸時代の農村の様子 B (3) ア(ウ) 産業の発達 C (1) ア(4) 文明開化の風潮	(4) イ江戸時代の農村の様子 (4) ウ産業や交通の発達 各地方の生活文化 (5) イ文明開化の風潮	開国と近代日本の歩み 二度の世界大戦と日本 二度の世界大戦と日本	日清・日露戦争と近代産業 第一次世界大戦と日本 世界恐慌と日本の中国侵略	小作争議 大衆文化 洋食(ライスカレー トンカツ コロケ) 国家総動員法 配給制 切符制
	C (1) ア(4) 文明開化の風潮 C (1) ア(エ) 近代産業の発展	(5) イ文明開化の風潮 (5) エ国民生活の変化 近代産業の発展	二度の世界大戦と日本	第二次世界大戦と日本	大東亜共栄圏
	C (1) ア(4) 文明開化の風潮 C (1) ア(エ) 近代産業の発展 C (1) カ経済の世界的な混乱と社会問題 二度の世界大戦	(5) イ文明開化の風潮 (5) エ国民生活の変化 近代産業の発展 (5) カ経済の世界的な混乱と社会問題 二度の世界大戦	開国と近代日本の歩み 二度の世界大戦と日本 二度の世界大戦と日本	日清・日露戦争と近代産業 第一次世界大戦と日本 世界恐慌と日本の中国侵略	小作争議 大衆文化 洋食(ライスカレー トンカツ コロケ) 国家総動員法 配給制 切符制
	C (1) カ経済の世界的な混乱と社会問題 二度の世界大戦	(5) カ経済の世界的な混乱と社会問題 二度の世界大戦	二度の世界大戦と日本	第二次世界大戦と日本	大東亜共栄圏
	C (1) カ経済の世界的な混乱と社会問題 二度の世界大戦	(5) カ経済の世界的な混乱と社会問題 二度の世界大戦	二度の世界大戦と日本	第二次世界大戦と日本	大東亜共栄圏

教科・領域	新学習指導要領	現行学習指導要領	目次大項目	目次小項目	キーワード
社会 (公民的分野)	B(1)市場の働きと経済 ア消費生活と経済活動の意義	(2)私たちと経済 ア市場の働きと経済 消費生活と経済活動の意義 市場経済の基本的な考え方	私たちの暮らしと経済	消費生活と経済	消費者主権 契約 契約自由の原則 家計 流通の合理化 自立した消費者 環境ラベル 消費者の権利 商業 広告 POSシステム 食品表示 食品添加物 消費者問題 クー リング・オフ 製造物責任法 消費者契約法 消費者基本法 流通 プライベート・ブランド 資本主義経済 技術革新
	B(1)市場の働きと経済 Bイ市場経済の基本的な考え方			価格の働きと金融	市場経済 市場価格 需要(量) 供給(量) 均衡価格 独占 寡占 独占禁止法 公正取引委員会 市場 物価 3R (リデュース・リユース・リサイクル) 循環型社会 環境基本法 省資源 省エネルギー
	D(2)アよりよい社会を目指して	(4)イよりよい社会を目指して	地球社会と私たち	様々な国際問題	食料問題 飢餓 フェアトレード APEC TPP NA FTA ODA 地球温暖化 南北問題 南南問題 相互依存 再生可能エネルギー

## 理科

教科・領域	新学習指導要領	現行学習指導要領	目次大項目	目次小項目	キーワード
理科 (第2分野)	(1)ア(ア)㉞ 生物の観察	(1)ア(ア)生物の観察	身近な生物の観察	身近な生物の観察	成長
	(1)ア(ア)㉟ 生物の特徴と分類の仕方	(新設)			
	(1)ア(イ)㉞ 植物の体の共通点と相違点	(1)イ(イ)花のつくりと働き	植物の体のつくりとはたらき	花のつくりとはたらき 根・茎のつくりとはたらき	植物 葉 果実 種子
	(1)ア(イ)㉟ 動物の体の共通点と相違点	(3)ウ(ア)脊椎動物の仲間	動物のなかま	セキツイ動物のなかま	ホニユウ類
	(3)ア(ア)㉞ 生物と細胞	(3)ア(ア)生物と細胞	細胞のつくりとはたらき	光合成と呼吸	光合成 呼吸
	(3)ア(イ)㉞ 葉・茎・根のつくりと働き	(1)イ(イ)葉・茎・根のつくりと働き	植物の体のつくりとはたらき	茎・根のつくりとはたらき 細胞のはたらきと生物の体	果実や野菜の維管束 細胞の呼吸
	(3)ア(ウ)㉞ 生命を維持する働き	(3)イ(ア)生命を維持する働き	生命を維持するはたらき	呼吸 血液とその循環 消化と吸収	炭水化物 脂肪 タンパク質 ブドウ糖 アミノ酸 脂肪酸 モノグリセリド 消化 吸収 排出 消化器官 呼吸 循環
	(3)ア(ウ)㉟ 刺激と反応	(3)イ(イ)刺激と反応	行動のしくみ	運動器官 感覚器官	運動 感覚器官 骨格
	(5)ア(ア)㉞ 細胞分裂と生物の成長	(5)ア(ア)細胞分裂と生物の成長	生物の成長とふえ方	生物の成長と細胞	細胞分裂
	(5)ア(ア)㉟ 生物の殖え方	(5)ア(イ)生物の殖え方		生物の子孫の残し方	栄養生殖 有性生殖 無性生殖
	(5)ア(イ)㉞ 遺伝の規則性と遺伝子	(5)イ(ア)遺伝の規則性と遺伝子	遺伝の規則性と遺伝子	遺伝の規則性 遺伝子	遺伝子 IPS細胞
	(5)ア(ウ)㉞ 生物の種類の多様性と進化	(3)エ(ア)生物の変遷と進化	生物どうしのつながり	生物の食べる・食べられるの関係 生物どうしのつり合い	生産者 消費者 生物濃縮 食物連鎖 生態系
	(7)ア(ア)㉞ 自然界のつり合い	(7)ア(ア)自然界のつり合い	自然界を循環する物質	微生物のはたらき 物質の循環	分解者 物質の循環
	(7)ア(ア)㉟ 自然環境の調査と環境保全	(7)ア(イ)自然環境の調査と環境保全	自然環境と人間のかかわり	自然環境の保全	世界の人口の推移 地球温暖化 自然環境の保全
	(7)ア(ア)㊱ 地域の自然災害	(7)イ(ア)自然の恵みと災害		自然のめぐみ	水資源
	(7)ア(イ)㉞ 自然環境の保全と科学技術の利用	(7)ウ(ア)自然環境の保全と科学技術の利用	くらしを支える科学技術	衣食住と科学技術	食と科学技術

## 技術・家庭(家庭分野)

教科・領域	新学習指導要領	現行学習指導要領	目次大項目	目次小項目	キーワード			
技術・家庭 (家庭分野)	B(1)ア(7)食事が果たす役割	B(1)ア食事が果たす役割 健康によい食習慣	健康と食生活	食事の役割について考える	生命や健康の維持 生活のリズム			
	B(1)ア(4)中学生の栄養の特徴、健康によい食生活			生活習慣と食事		生活習慣病 食事と健康 孤食 個食 共食		
	B(1)イ健康によい食習慣の工夫						中学生に必要な栄養	栄養素 食事摂取基準
	B(2)ア(7)栄養素の種類と働き、食品の栄養的特質							
	B(2)ア(4)中学生の1日に必要な食品の種類と概量 献立作成						B(2)イ中学生の1日分の献立	食事の計画
	B(2)イ中学生の1日分の献立の工夫			B(2)ウ食品の選択		食品の選択と保存		
	B(3)ア(7)用途に応じた食品の選択	B(3)ア基礎的な日常食の調理 食品や調理用具等の適切な管理	調理をしよう		調理の基本		食中毒防止 食卓のマナー	
	B(3)ア(4)食品や調理用具等の安全・衛生に留意した管理			肉の調理	衛生的な扱い			
	B(3)ア(7)材料に適した加熱調理の仕方、基礎的な日常食の調理			魚の調理	旬 衛生的な扱い			
	B(3)イ日常食の1食分の調理及び食品の選択や調理の仕方			野菜の調理	旬			
	B(3)ア(エ)地域の食文化、地域の食材を用いた和食の調理	B(3)イ地域の食材を生かした調理 地域の食文化	地域の食材と食文化	地域の食材と郷土料理	食文化 郷土料理			
	B(7)ア食生活、衣生活 住生活についての課題と計画 実践 評価	B(3)ウ食生活についての課題と実践 C(3)イ衣生活または住生活についての課題と実践		持続可能な社会をつくる	食生活と環境とのかかわり	食料生産 フードマイレージ バーチャルウォーター 食品ロス フェアトレード エコクッキング 食料自給率 地産地消 災害時の食事		
	C(1)ア(7)購入方法や支払い方法の特徴 計画的な金銭管理	D(1)イ販売方法の特徴 物資・サービスの選択 購入及び活用	商品の選択と購入	商品購入のプロセス	消費行動の振り返り			
	C(1)イ情報を活用した物資・サービスの購入の工夫	D(1)イ販売方法の特徴 物資・サービスの選択 購入及び活用 (新設)				商品の選択と購入 よりよい消費生活のために	生活情報の活用	メディアリテラシー
	C(1)イ情報を活用した物資・サービスの購入の工夫		販売方法と支払い方法	店舗販売 無店舗販売 通信販売				
	C(1)ア(4)売買契約の仕組み、消費者被害、選択に必要な情報の収集・整理		D(1)ア消費者の基本的な権利と責任	よりよい消費生活のために 環境に配慮した消費生活	契約と消費生活のトラブル		契約	
	C(2)ア消費者の基本的な権利と責任、消費行動が環境や社会に及ぼす影響	D(2)ア環境に配慮した消費生活の工夫と実践			持続可能な社会	消費者の権利と責任	消費者の8つの権利 消費者の5つの責任	
	C(2)イ自立した消費者としての消費行動の工夫					再生可能エネルギー		
	C(3)ア環境に配慮した消費生活についての課題と計画、実践、評価	(新設)	環境に配慮した消費生活	環境問題への挑戦	リサイクル			

## 保健体育

教科・領域	新学習指導要領	現行学習指導要領	目次大項目	目次小項目	キーワード
保健体育 (保健分野)	2 内容 (1)ア(ア) 健康な生活と疾病の予防	2 内容 (4)ア健康な生活と疾病の予防	健康な生活と病気の予防	健康の成り立ち	主体の要因 環境の要因
	(1)ア(イ) 健康の保持増進	(4)イ健康の保持増進		休養・睡眠と健康	健康障害 休養 睡眠 生体リズム
	(1)ア(ウ) 生活習慣病			生活習慣病とその予防	生活習慣病 コレステロール 脂質異常症
	(1)イ健康な生活と疾病の予防についての課題と解決法			(新設)	食生活と健康

## 道徳

教科・領域	新学習指導要領	現行学習指導要領
道徳	A [節度、節制] 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。	1 主として自分自身に関する事 (1)望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。
	B [思いやり、感謝] 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深める事。	2 主として他の人とのかかわりに関する事 (3)温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。 (6)多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。
	C [勤労] 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	4 主として集団や社会とのかかわりに関する事 (5)勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。
	C [郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度] 郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努める事。	4 主として集団や社会とのかかわりに関する事 (8)地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。
	C [我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度] 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努める事。	4 主として集団や社会とのかかわりに関する事 (9)日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。
	C [国際理解、国際貢献] 世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	4 主として集団や社会とのかかわりに関する事 (10)世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。
	D [生命の尊さ] 生命の尊さについてその連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	3 主として自然や崇高なもののかかわりに関する事 (1)生命の尊さや意義を理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。

## 総合的な学習の時間

教科・領域	新学習指導要領	現行学習指導要領
総合的な学習の時間	3 目標及び内容 (5)目標を実現するにふさわしい探究課題については、学校の実態に応じて、例えば、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題、地域や学校の特色に応じた課題、生徒の興味・関心に基づく課題、職業や自己の将来に関する課題などを踏まえて設定すること。	3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(5)学習活動については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、生徒の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動、職業や自己の将来に関する学習活動などを行うこと。

## 特別活動

教科・領域	新学習指導要領	現行学習指導要領
特別活動	2 内容 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。	2 内容 (2) 適応と成長及び健康安全 キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
	2 内容 (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 オ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 給食の時間を中心としながら 成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。	2 内容 (2) 適応と成長及び健康安全 ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成